

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 瀬戸市新水道ビジョンについて 【質問趣旨】 本市の水道は、1933年に馬ヶ城浄水場が建設され、中心市街地への給水を開始し、昨年通水90周年を迎えた。 本市は2012年に「瀬戸市水道ビジョン」を策定しているが、近年の人口減少に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化・耐震性不足などが問題となる中で、将来にわたり安定的に水道事業を持続していくために、昨年「瀬戸市新水道ビジョン」(以下、「新水道ビジョン」と略す)を策定した。 2018年12月の臨時国会で成立した改正水道法では、事業を効率化するために、水道事業の統廃合などの広域連携を進めること、施設の所有権	(1) 水道料金について	① 水道料金については、今年度も4ヶ月分の減免が行われたところであるが、これは物価高騰など昨今の厳しい市民生活を踏まえたものであるか伺う。 ② 今後も低所得者層や障がい者などへの負担軽減策を考えているのか伺う。 ③ 東京都では水道料金滞納者への訪問催告の中止などで、水道の供給停止が2022年度は2021年度の約1.7倍に急増したことが問題となっている。水道事業の本来の目的は「公共の福祉の増進」であり、このような対応は問題であるとする。本市では水道料金滞納者に対してどのような対応がなされているか伺う。 ④ 新水道ビジョンでは、水道料金以外の財源として「遊休資産の活用・整理等による収入確保策を検討」するとしているが、具体的にはどのように検討しているか伺う。 ⑤ 「瀬戸市水道事業経営戦略」では、「料金改定の検討」「収納率の向上」を挙げている。今年8月1日の令和6年度第1回瀬戸市水道事業経営審議会において、令和8年度に水道料金を42.57%値上げするシミュレーションが提示されている。値上げの提案をするのはどのような理由によるものか伺う。 ⑥ 今後、⑤のシミュレーションに基づき具体的な水道料金について検討していくとのことだが、多くの市民が物価上昇に苦しんでおり、景気の回復が見込まれない状況での水道料金の値上げは市民の全世帯に影響が出るものであり行うべきでないとするが見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
7.1 の地震が発生した。これにより南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられている。生活するうえで水は必要不可欠なものであり、安全・安心で安価な水を安定的に供給することが市民の願いである。そのために将来にわたって水道事業は公営を維持していくことが必要だと考え質問する。		② 馬ヶ城浄水場と蛇ヶ洞浄水場では、毎日の検査と毎月の検査を実施して安全性を確認しており、水質はおおむね良質としているが、過去には湧水や藻類の繁殖による水質の悪化や大雨による濁水などが発生している。そのような場合はどのように対応しているのか伺う。 ③ 2022 年度にはメガソーラー工事の影響により濁水が蛇ヶ洞ダムに流入した事例があった。水源環境保全のため、民間開発から森林を守る取り組みを進めるべきだと考えるが見解を伺う。 ④ 新水道ビジョンでは、自己水を保有していくのか県水へ転換していくのかを整理し基本方針を決定するとしている。自己水を廃止し、県水に転換することも方針として考えているのか伺う。 ⑤ 2019 年に施行された改正水道法では、水道広域化の推進を都道府県に求めている。愛知県でも「愛知県水道広域化推進プラン」が策定されている。広域化の推進は自己水を廃止する方向性なのかを伺う。 ⑥ 1994 年に木曽川水系が湧水した際に、本市においても一時断水が行われた。湧水時や災害時の代替として自己水を保有することは、自己水のない他市町村にはない優位性を持っていると考える。災害時のことも考えると自己水を存続させていくことが重要ではないかと考えるが見解を伺う。 ⑦ 川本市長は公約の中で、「自己水源地を守る」としている。もし自己水を廃止す

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) いのちの水を守るために、水道・下水道事業は公営維持を	るということであれば市長の公約と真っ向から相反するものと考えてるが、市長の見解を伺う。 ① わが国では民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う PFI 法が 1999 年に立法され、本市でも社会教育施設、文化施設等で導入が検討されている。水道事業についてはどのような部分で導入されているのか伺う。 ② 新水道ビジョンでは、「広域連携の推進」、「官民連携の推進」など水道法改正の概要を紹介し、「これらの内容を踏まえて、今後より一層基盤強化に取り組む」としている。「広域連携」については、「愛知県広域化検討会への参加」に取り組むとある。他方「官民連携の推進」については、「民間活力の検討」と記述があるが、具体的にどのように取り組む方針なのか伺う。 ③ 本市ホームページでは「下水道事業に関する PPP/PFI 提案窓口について」として、下水道事業について民間事業者の事業の提案待ちを行っているとのことだが、現時点でどのような提案が行われているのか伺う。 ④ 本市の水道事業についてコンセッション方式を導入する計画があるのか伺う。 ⑤ 日本より早く水道民営化の行われた海外では、水質の悪化、老朽管更新の放置、水道料金の大幅値上げなど失敗した事例が多く見受けられ、現在では水道の再公営化が進みつつある。こうした状況をふまえ、水道民営化ではなく、将来にわたり公営を維持していくべきと考えるが見解を伺う。

(4 ページ)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS 明朝体、12 ポイントで記載する。